

妻沼西支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月8日

熊谷市長 富岡



記

1. 会合の対象とした区域
妻沼西支店

2. 会合の結果を取りまとめた年月日
平成31年3月6日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	6経営体
個人	67経営体
集落営農（任意組織）	2組織
合計	75経営体

○ 農地の集積面積

232.0ha（区域内の農地面積951.3ha、集積率24.4%）

4. 今後の地域農業の在り方

現在、後継者が不足している。担い手も規模拡大に限界がある。用水費については、統一されていない。

まず、農地・地域の実態把握（農家の格差、面積、作業効率等）をすること。手続き書類は削減し、分かりやすくする。

担い手不足に対して、集落で共同作業を行ったり、集落営農組織の法人化を検討する。併せて、新規就農者が増えるよう対策を考えていく。

農業のIT化（ドローン、スマートフォンの活用等）も視野に入れる。

集積については、小規模でもいいから、地区内にサンプル場所を造る。

今後も、地区で座談会形式の話し合いをする場を継続して持つようにする。また、貸し手・借り手とも参加して話し合いをする。